

令和6年度石狩教育研修センター

ICT 実技研修講座

端末活用講座 (中級)



日時	令和6年8月8日(木) 13:00~16:00			
場所	北広島市立東部小学校			
講師	北広島市立東部中学校	安 齋	慎	
	千歳市立千歳小学校	三 上	和	徳
	石狩市立花川中学校	山 下	宗	親

令和元年12月、GIGA スクール構想が文科省より発表され、令和2年から児童生徒1人1台端末の整備と校内通信ネットワークの整備が全国で実施されました。令和5年には第4期教育振興基本計画が閣議決定し、1人1台端末の活用や児童生徒の情報活用能力の育成が基本施策として盛り込まれました。一人一人の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面での ICT 機器の活用頻度を増加させることや教師の ICT 活用指導力の向上、校務の効率化についても指標として示されました。

児童生徒に端末を活用させる機会が増えるとともに、私たち教職員が端末に触れる機会も大幅に増えました。Zoom や Google Meet を活用したオンライン会議への参加、Google フォームで作成されたアンケートへの回答等、ほとんどの教職員が経験したことがあるのではないのでしょうか。一方で、「もっとこうしたい」「もっと有効活用したい」「こんなことできたらいいのに…」と思う教職員も多いと思います。

本研修では、Google フォームによるアンケート等で集約された情報を効果的、かつ即時に並び替えたり抽出したりする関数を中心に扱います。はじめに、そのような関数が用いられているファイルを実際に見ていただきます。その後は、活用場面に応じた関数を作成してもらう演習作業を中心に展開してまいります。最後は、ファイルを共有するのに役立つ Google サイトについても紹介できればと考えております。

ハードルは高いかもしれませんが、しかし、理解すると校務の様々な場面で活用することができ、私たちの業務改善にもつながると考えております。演習を多く考えておりますので、わからないときは気軽にお声がけください。本日の研修が2学期（前期後半）からの授業、校務の一助になれるよう努めます。

北広島市立東部中学校

安齋 慎

1) 様々な関数を活用しよう

I SUM・AVERAGE・RANK 関数

活用場面

各種テストの結果を算出する場面。Google フォームやその他の関数と併用することで、自動的に算出させることも可能になります。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	クラスを選択	A								
2	クラス	出席番号	名前	国語	数学	社会	理科	英語	合計点	順位
3	A	1	小坂 大介	91	99	95	95	85	465	2
4	A	2	小堀 春美	53	31	52	33	42	211	27
5	A	3	佐々木 陽介	85	95	87	88	77	432	5
6	A	4	大石 あずさ	58	38	36	24	23	179	30
7	A	5	古川 理恵子	52	68	82	74	73	349	10
8	A	6	石川 優子	50	30	28	56	95	259	22
9	A	7	柳原 靖男	46	50	64	47	22	229	24
10	A	8	山内 大輔	58	30	45	15	42	190	29

各関数の特徴

SUM 関数

選択した範囲の数字を合計できます。

AVERAGE 関数

複数の値の平均値を求められます。

RANK 関数

範囲内の順位を求められます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
27	A	25	古川 けい	78	39	82	56	58	313	17
28	A	26	上松 みのる	51	18	76	67	48	260	20
29	A	27	中村 ひかり	74	70	70	50	58	322	15
30	A	28	井上 祐希子	89	99	85	89	77	439	3
31	A	29	岸 俊祐	81	83	92	88	87	431	6
32	A	30	荒井 真樹子	36	64	59	43	57	259	22
33	A	31	翁長 まどか	59	85	55	78	65	342	11
34	A	32	松浦 優子	59	81	69	69	64	342	11
35	A	33	新宅 直樹	76	70	79	85	85	395	8
36	A組	平均点		63.7	57.3	62.5	59.6	57.6	300.7	
37										
38	各クラス	A組	B組	C組	D組					
39	平均点	300.7	307.3	306.5	281.2					
40		3	1	2	4					
41										
42										

活用例

漢字テストの集計を Google フォームで実施し、集約したデータから合計点と平均点を算出させています。成績一覧表等に入力する際に、平均点をコピー＆ペーストすることにより、効率化を図っています。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	A		1 小坂 大介	10 / 10			クラス	出席番号	名前	得点合計	回数	平均点
2	A		1 小坂 大介	10 / 10			A	1	小坂 大介	40	4	10.0
3	A		1 小坂 大介	10 / 10			A	2	小堀 春美	37	6	6.2
4	A		1 小坂 大介	10 / 10			A	3	佐々木 陽介	59	6	9.8
5	A		2 小堀 春美	8 / 10			A	4	大石 あずさ	25	6	4.2
6	A		2 小堀 春美	5 / 10			A	5	古川 理恵子	58	6	9.7
7	A		2 小堀 春美	7 / 10			A	6	石川 優子	0	0	#DIV/0!
8	A		2 小堀 春美	6 / 10			A	7	柳原 靖男	0	0	#DIV/0!
9	A		2 小堀 春美	3 / 10			A	8	山内 大輔	40	6	6.7
10	A		2 小堀 春美	8 / 10			A	9	新井 久	48	5	9.6
11	A		3 佐々木 陽介	10 / 10			A	10	今野 拓未	45	5	9.0
12	A		3 佐々木 陽介	10 / 10			A	11	竹内 剛志	20	6	3.3
13	A		3 佐々木 陽介	10 / 10			A	12	黒澤 太郎	51	6	8.5
14	A		3 佐々木 陽介	10 / 10			A	13	池上 正樹	27	4	6.8
15	A		3 佐々木 陽介	10 / 10			A	14	萩野 千尋	53	6	8.8
16	A		3 佐々木 陽介	9 / 10			A	15	村上 剛史	37	6	6.2
17	A		4 大石 あずさ	8 / 10			A	16	田中 裕子	20	6	3.3
18	A		4 大石 あずさ	1 / 10			A	17	山本 学	60	6	10.0
19	A		4 大石 あずさ	4 / 10			A	18	高田 友昭	57	6	9.5
20	A		4 大石 あずさ	3 / 10			A	19	橋田 桂太	32	5	6.4

合計点と回数を数える関数を使用しているため、自動的に算出してくれています。※この例では、応用となる SUMIF 関数、COUNTIF 関数を用いています。

平均点は AVERAGE 関数を用いますが、この例では「得点合計÷回数」の数式「=J2/K2」で算出しています。

(1) 基本構文

=SUM(最初のセル:最後のセル)【範囲選択】

=SUM(該当セル,該当セル,...)【個別選択】

=AVERAGE(最初のセル:最後のセル)【範囲選択】

=AVERAGE(該当セル,該当セル,...)【個別選択】

=RANK(数値,順位付けの範囲,順位付けの仕方)

・合計点数を出したい時は・・・「SUM 関数」

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	クラスを選択	A								
2	クラス	出席番号	名前	国語	数学	社会	理科	英語	合計点	順位
3	A	1	小坂 大介	91	99	95	95	85		

いずれかの方法で関数を入力する

fx =SUM(D3:H3)

fx =SUM(D3,E3,F3,G3,H3)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	クラスを選択	A								
2	クラス	出席番号	名前	国語	数学	社会	理科	英語	合計点	順位
3	A	1	小坂 大介	91	99	95	95	85	465	

・平均点数を出したい時は・・・「AVERAGE 関数」

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
35	A	33	新宅 直樹	76	70	79	85	85	395
36	A組	平均点							

関数を入力する

fx =AVERAGE(D3:D35)

平均点

63.7

・クラス内で順位を出したい時は・・・「RANK 関数」

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	クラスを選択	A								
2	クラス	出席番号	名前	国語	数学	社会	理科	英語	合計点	順位
3	A	1	小坂 大介	91	99	95	95	85		

関数を入力する

fx =RANK(I3,I3:I35,0)

順位を付ける基準となる数値のセルを選択します。

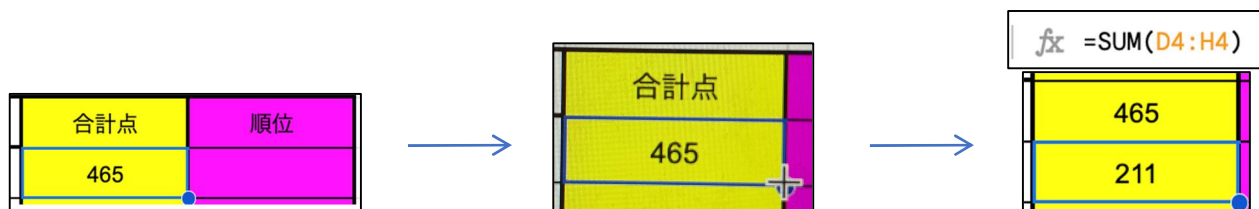
順位を付ける基準となる、数値セルの範囲を選択します。演習シートでは33人在籍しているクラスのため、33人分のセルを選択しています。

順位付けの仕方を決めます。「0」は数値の高い順に、「1」は数値の低い順に、順位付けをしています。演習シートの場合、クラス内で2番目に点数が高いことを表しています。

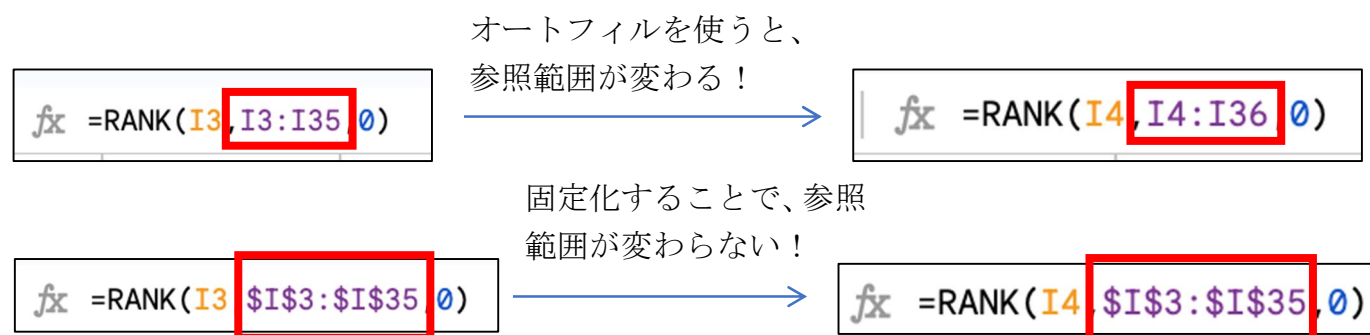
合計点	順位
465	2

注意事項 & 豆知識

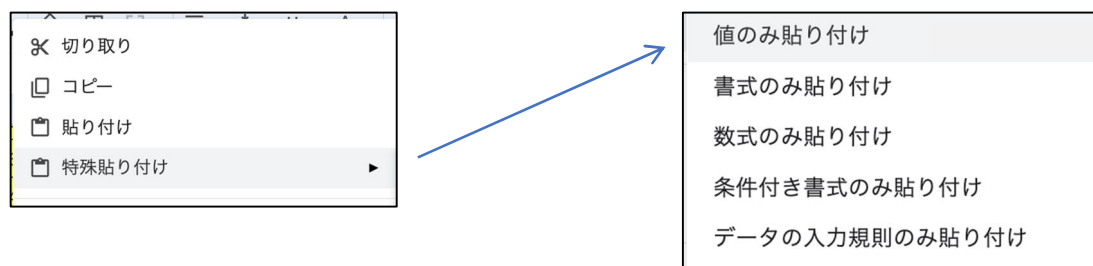
- (1) 関数の入力、基本的に半角入力になります。全角入力だとエラーが生じます。
- (2) 関数をコピーする時は、オートフィル機能が便利です。オートフィル機能は、セルに打ち込まれている情報を認識して、他のセルにも自動でデータを入力してくれる機能です。情報が打ち込まれているセルを選択すると、右下に青丸が表示されます。青丸にカーソルを合わせると「+」マークが現れます。それを選択した状態のまま、ドラッグすると自動でデータが入力されます。(合計点と平均点はこの機能で反映させることができます)



- (3) (2) のオートフィル機能は便利ですが、関数で参照する範囲を選択している場合、結果が反映されないことがあります。(今回の場合 RANK 関数でエラーが生じます) そのため、オートフィル、もしくは関数をコピーした場合でも範囲が変わらない、つまり範囲を固定する必要があります。(以下、固定化とする) 固定化するためには、セルの行に対して「\$」で挟むと、関数をコピー＆ペースト(オートフィル含む)しても範囲は変わりません。(例 G2→\$G\$2) なお、WindowsPC の場合、セルを指定した状態で「F4 キー」を押すだけで、「\$」が付与されます。



- (4) 関数で取得した値をコピー＆ペーストで入力する場合、通常のやり方では関数がコピーされてしまいエラーが生じてしまいます。値をそのまま入力したい場合、ペーストする際に「特殊貼り付け」の「値のみ貼り付け」を選択しましょう。



演習① 演習①シートで、3つの関数を用いて合計点数、平均点数、順位づけをしよう！

2 VLOOKUP 関数

特徴

指定した範囲の中から特定のデータに対する値を取り出すことができます。検索値は、指定した範囲内の左端にする必要があります。

検索値

範囲

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	出席番号	名前	振り返りの記述を表示させましょう！	文字数	クラス	A	名前	振り返り
2	1	小坂 大介	走れメロスと人質を比べて、人質は詩で走れメロスの主軸となる部分だった。走れメロスは、様々な描写が増えていたりして、より想像しやすいと思った。	70			池上 正樹	が具体的に細かい
3	2	小堀 春美	今回は走れメロスと人質を比べてみて走れメロスのほうが具体的に個人的には走れメロスのほうがわかりやすいと思いました。	57	単元名	走れメロス	小坂 大介	だった。走れメロ
4	3	佐々木 陽介	今日は、走れメロスの元となった人質を読みました。2つの文章を、情景描写や周りの人の書かれ方など、観点を絞って比較しながら、学習することが大切だと感じました。	78	時数	1	松浦 優子	より走れメロスの
5	4	大石 あずさ	人質は走れメロスよりも簡単にまとまって読みやすいなって思った。	31			小堀 春美	が具体的に個人
6	5	古川 理恵子	走れメロスの方は細かく内容が書いていて、人質は端的に書かれていて、最後に王が優しかったから走れメロスより人質の方がいい話だと思った。	66			大石 あずさ	単にまとまって
7	6	石川 優子		0			今野 拓未	ずのような文に
8	7	橋原 靖男		0			村上 剛史	質をもとにして
9	8	山内 大輔	走れメロスの参考となった人質を読んで全体の流れはほとんど同じだったけど最後のところの王が少し素直になっていることがわかりました他にもメロスが友達を救うために走っているときの過酷さが少ないと思いました	99			山本 学	思った。なぜ人
10	9	新井 久	走れメロスと人質を比べると人質はおおまかな内容で走れメロスは具体的に書かれていた。セリフもニュアンスは似ているけど言葉が違ったりなどがあつた。	71			新宅 直樹	ました。一番気
11	10	今野 拓未	走れメロスは言葉が多く補足されているが人質は言葉足らずのような文になっていることをはるまさんの発表や読んでみてわかった	59			上松 みのる	細かく書かれてい
12	11	竹内 剛志	走れメロスと人質を比べてみて似てるなと思った。次の授業では積極的に意見を出せるようにする。	45			佐々木 陽介	や周りの人の書か
13	12	黒澤 太郎	走れメロスは小学校以来関わる事がなかったから少しむずかしく感じた。次回のときはグループの人と探求していくから、今より意味が理解できるようにしたい。	74			新井 久	的に書かれてい
14	13	池上 正樹	人質と比較して、走れメロスのほうが具体的に細かく書かれていることに気がついた。	39			翁長 まどか	。人質と走れメ
15	14	萩野 千尋		0			渡辺 学	物の心情がわか
16	15	村上 剛史	走れメロスが人質をもとにしてることがわかった	22			古川 けい	ロスの方がより
17	16	田中 裕子	人質を読んでみて、走れメロスのほうが詳しく深く書かれていることに気がついた。次回は自分が選んだ場面について深めていきたい。	61			荒井 真樹子	体的に書かれた

範囲から取り出したい値（範囲の中の左端から何番目かを指定する。この場合は「2」が列番号となる）

データの入力規則機能（詳細はP18 参照）によりリスト化して、「クラス」「単元名」「時数」を変えることで、参考にした振り返り（特定の値）を閲覧することができます。

活用例

振り返りを Google フォームで実施し、「クラス」「単元名」「時数」を選択することで、クラス全員の振り返りを表示させています。教科担任として個人の進捗状況、理解度合いを把握することで指導及び評価に生かすことができます。また、子ども自身が「クラス」「単元名」「時数」を選択することができるよう共有設定をしているため、他の子どもの振り返りを参考にして自らの学習に生かすことができるよう促しています。【個別最適な学び、協働的な学び】

(1) 基本構文 =VLOOKUP(検索値,範囲,列番号,検索の型)

3【列番号】は、取り出したい値が範囲全体のうち、左端から何番目の列であるかを示しています。演習シートでは記述を取り出すので、2列目になります。

G	H
名前	振り返り
池上 正樹	が具体的に細か
小坂 大介	だった。走れメロ
松浦 優子	より走れメロスの
小堀 春美	が具体的で個人

VLOOKUP 関数には4つの引数があります。

- 1【検索値】・・・どのデータを基にするか
- 2【範囲】・・・どこから検索するか
- 3【列番号】・・・選択した範囲のどの列にある値を取り出すか
- 4【検索の型】・・・検索する値が見つからない場合、どのように処理するかを決める。TRUE または FALSE があります。

※基本的に完全に一致する値を探すことになるため、FALSE が基本となります。

	A	B	C
1	出席番号	名前	振り返りの記述を表示させましょう！
2	1	小坂 大介	走れメロスと人質を比べて、人質は詩で走れメロスの主軸となる部分だった。走れメロスは、様々な描写が増えていたりして、より想像しやすいと思った。
3	2	小堀 春美	今回は走れメロスと人質を比べてみて走れメロスのほうが具体的で個人的には走れメロスのほうがわかりやすいと思いました。
4	3	佐々木 陽介	今日は、走れメロスの元となった人質を読みました。2つの文章を、情景描写や周りの人の書かれ方など、観点を絞って比較しながら、学習することが大切だと感じました。

名前を検索値として、該当生徒の振り返りを取り出すことができます。この際、元となるデータ一覧は左端に名前がなければいけないのが、VLOOKUP 関数の特徴になります。

実際の構文

fx =VLOOKUP(B2,\$G\$2:\$H\$34,2,FALSE)

注意事項 & 豆知識

(1) 演習①のように、参照範囲を固定化することで関数をコピーしても参照するデータがずれなくなります。必ず固定化するようにしましょう。

演習② 演習②シートで、VLOOKUP 関数を用いて該当児童生徒の振り返りを表示させよう！

(2) こんな時どうする？ ～データが入力されていないため、エラー表示が出てしまう～

6	石川 優子	#N/A
7	榊原 靖男	#N/A

エラーである「#N/A」が表示されてしまい、見映えが悪くなる…。しかし、以下の関数を入力することで、取り出したいデータがない場合、エラーを表示させなくすることができます。



fx =IFERROR(VLOOKUP(B2,\$G\$2:\$H\$34,2,FALSE),"

VLOOKUP 関数を囲む形で、IFERROR 関数を使うことでエラー表示をなくすることができます。空白表示になっているのは、関数の最後にデータがない場合「"」とすることで、空白で返すように指示しているためです。

演習③ 演習③シートに、IFERROR 関数を用いてエラー表示をなくそう！

注意事項 & 豆知識

(1) エラーメッセージには、空白だけではなくメッセージを返すこともできます。表示させたいメッセージを「"」（ダブルクォーテーション）の間に入れます。

fx =IFERROR(VLOOKUP(B2,\$G\$2:\$H\$34,2,FALSE),"")



fx =IFERROR(VLOOKUP(B2,\$G\$2:\$H\$34,2,FALSE),"記載なし")

(2) (1)のように、一度設定した関数を修正する場合は「置換」機能を使うと一括編集できます。この機能を使うことで、各セルの関数を修正する必要がなくなり、業務がスムーズになります。

関数に修正を加える場合は、「数式内も検索」にチェックをつけます。



検索範囲は条件によって選択が可能です。囲みをクリックすると、データ範囲の選択をドラッグで選択できます。

「すべて置換」をクリックすると該当データが一括で編集されます。

演習④ 演習③シートで、上記の関数について置換機能を用いて別のメッセージを表示させよう！

3 XLOOKUP 関数

特 徴

Google フォーム等で得られる多くのデータから、特定のデータに対する値を取り出す場面において、「選択範囲が広い」「検索値が左端とは限らない」等、より自由に特定の値を取り出すことができます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	
1	メール	学習内容	1	1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2	1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	1-7	4桁出席番号	名前	学年	クラス	2桁出席番号	
2	s2213	まちづくり	北広島	2	自分	3	みんな	1	自我	4	課題							将来	3207	中村	3年	B	7	
3	s2200	まちづくり	北海道	5	今の	5	みんな	4	整理	5	みんな	国語	構成と社会	社会と				スライ	3102	和田	3年	A	2	
4	s2207	まちづくり	北海道	5	自分	5	Google	4	その	5	みんな	社会	その					弘前市	3414	柿本	3年	D	14	
5	s2212	まちづくり	青森県	4	北広島	5	ネット	4	いろ	3	発表	数学	今後					自他	3431	和田	3年	D	31	
6	s2206	まちづくり	環境	5	交流	5	正確	5	複数の	5	スライ	理科	バイフ	社会	SDGs			使っ	3118	佐々	3年	A	18	
7	s2204	まちづくり	北広島	5	現状	4	一部	5	一つ	4	スライ	社会	sdgs					今後	3408	秋田	3年	D	8	
8	s2203	まちづくり	北広島	3	課題	4	自分	5	他の	3	相手	数学	ほと	社会	他の	国語	文章	相手	3406	井上	3年	D	6	
9	s2213	まちづくり	北広島	2	自分	1	実際の	3	あまり	2	自分の	国語	自分の	社会	歴史	と家庭	こ	ざん	比較	3133	高田	3年	A	33
10	s2211	まちづくり	こ	5	現状	5	ネット	5	課題	5	相手	社会	伝統					今後	3129	萩野	3年	A	29	
11	s2203	まちづくり	他者	5	個人	5	ネット	5	個人	5	一つ	社会	自分	理科	自分			他者	3113	山本	3年	A	13	
12	s2209	まちづくり	自分の	5	職員	5	係の	5	調べ	5	グラ	社会	過疎					今後	3419	小川	3年	D	19	
13	s2202	まちづくり	街に	4	でき	5	まち	5	他者	5	あ	いて	理科	多様				今後	3110	龍美	3年	A	10	
14	s2208	まちづくり	弘前	5	北広島	5	パソ	5	経済	5	私達	国語	意見	と社会	その			北広島	3416	岡田	3年	D	16	
15	s2202	まちづくり	比較	5	現状	5	ネット	5	工夫	5	周り	社会	心地	と技術	家な			コミ	3111	山口	3年	A	11	
16	s2208	まちづくり	青森県	5	北広島	5	担当	5	自分	5	その	国語	スライ	数学	予算			これ	3123	山内	3年	A	23	
17	s2205	まちづくり	青森県	4	自主	4	基本	3	あまり	4	課題	社会	青森					相手	3410	山口	3年	D	10	
18	s2202	まちづくり	PRの	5	ま	5	班の	5	そ	5	東部	社会	研修	技術	研修			それ	3108	柳川	3年	A	8	
19	s2213	まちづくり	青森							4	相手の	社会	歴史	と技術	昔の			昔の	3115	横田	3年	A	15	
20	s2200	まちづくり	青森	5	今の	5	イン	5	も	5	相手の	社会	歴史	と美術	綺麗			北広島	3104	菅原	3年	A	4	
21	s2207	まちづくり	こ	4	実際に	5	実際に	4	人の	5	実際に	社会	中山	美術	こ	ざん	国語	情報	と国語	3119	大石	3年	A	19
22	s2209	まちづくり	どの	5	現状	5	自主	4	集め	3	スピー	社会	地理	の国語	スライ			プレ	3125	今野	3年	A	25	
23	s2205	まちづくり	他の	5	現状	5	クロ	4	多面	5	見本の	数学	数値	と外国	語	聞いて	社会	根拠	と根拠	3117	小堀	3年	A	17

取り出したい値の範囲

取り出したい値の範囲から検索値と一致するデータを抽出

検索値

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	
1	令和 6 年度		まちづくり													3年	A 組	3 番	番号	3103						
2																名前	梅澤 勝									
3																										
4																										
5	単元名		「持続可能な社会を築くために私たちができること」																							
6																										
7	単元目標		持続可能な社会の実現を考えたことを通して、社会の現状と課題からできる行動を考え実践するとともに、課題解決に向け協																							
8																										
9																										
10																										
11	1. 今回の学習全体を通して、どのようなことを学んだかまとめよう																									
12	今回の学習では、他の県で得たことを、自分の住んでいる市を良くするために活用し、提案しました。この学習																									
13	で私は、提案は根拠をしっかりと持ち、説得力のある説明をすることが大切、他者意識を持って、提案を作成し、																									
14	ある程度作り終えたら、必ず見て、他の人が見てもわかりやすいのかを確かめながらスライドを作成することの																									
15	大切さを改めて学びました。																									

=XLOOKUP(\$Y\$1, '基本情報④'!S:S, '基本情報④'!C:C)

活用例

総合的な学習の時間の振り返りの形式を、探究学習と教科横断的な学習に焦点を当て、全学年統一で今年度より実施しています。Google フォーム、スプレッドシートも 1 つにすることで、業務の煩雑さを解消しています。また、国語の振り返り同様、子どもが他者の振り返りを参照することができるため、学びを広げたり深めたりすることにも有効的な手段になります。

(1) 基本構文 `=XLOOKUP(検索値,範囲,戻り範囲,見つからない場合)`

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	
1	メー	学習	1	そ	ー	1	2	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	4桁出席番号	
2	s2213	まち	北広	2	自分	3	みんな	1	自我	4	課題								将来	
3	s2202	まち	北海道	5	今のも	5	みんな	4	整理、	5	みんな	国語	構成と	社会	と				スラ	
4	s2207	まち	北海道	5	自分	5	Googl	4	その	5	みんな	社会	その						弘前	
5	s2212	まち	青森県	4	北広	5	ネット	4	いろい	3	発表	数学	今後						自他	
6	s2206	まち	環境県	5	交流	5	正確	5	複数	5	スラ	理科	パイフ	社会	SDGs				使っ	
7	s2204	まち	北広	5	現状	4	一部	5	一つ	4	スラ	社会	sdgs						今後	
8	s2203	まち	北広	3	課題	4	自分	5	他の	3	相手	数学	ほとん	社会	他の	国語	文章	相手	3408	
9	s2213	まち	北広	2	自分	1	実際の	3	あま	2	自分の	国語	自分の	社会	歴史	と	家庭	こざ	比較	
10	s2211	まち	こざ	5	現状	5	ネット	5	課題	5	相手の	社会	伝統						今後	
11	s2203	まち	他者	5	個人	5	ネット	5	個人	5	一つ	社会	自分の	理科	自分の				他者	
12	s2205	まち	自分の	5	班員	5	係の	5	調べ	5	グラ	社会	過疎						今後	
13	s2202	まち	街に見	4	でき	5	まち	5	他者	5	あ	理	多様						今後	
14	s2208	まち	弘前	5	北広	5	パソ	5	経済	5	私達	の	国語	意見	と	社会	その		北広	
15	s2202	まち	比較	5	現状	5	ネット	5	工夫	5	周り	の	社会	心地	と	技術	家	な	コミ	
16	s2208	まち	青森県	5	北広	5	担当	5	自分	5	その	国語	スラ	数学	予算				これ	
17	s2205	まち	青森県	4	自主	4	基本	3	あま	4	課題	社会	青森県						相手	
18	s2202	まち	PRの	5	今自	5	班の	5	そに	5	東部	社会	研修	技術	研修				それ	
19	s2213	まち	青森	5	こけし	5	失	4	でき	4	相手の	社会	歴史	と	技術	昔の			昔の	
20	s2202	まち	青森県	5	今	5	イン	5	も	5	相手の	社会	歴史	と	美術	綺麗			北広	
21	s2207	まち	こざ	4	実際	5	実際	4	人の	5	実際の	社会	中山	と	美術	こざ	の	国語	情報	の
22	s2205	まち	どの	4	現状	5	自主	4	集め	3	スピ	社会	地理	の	国語	スラ			プレ	
23	s2205	まち	他の	5	現状	5	クロ	4	多面	5	見本	数学	数値	と	外国	言	いて	社会	根拠	と

XLOOKUP 関数には 4 つの引数があります。

- 1 【検索値】・・・どのデータを基にするか
- 2 【範囲】・・・どこから検索するか
- 3 【戻り範囲】・・・どの範囲の値を取り出すか
- 4 【見つからない場合】
・・・検索値が見つからない場合、何を表示するか

※4 つの引数を用いるが、基本的に検索した際にデータが見つからないことや完全一致しないことはないため、1~3 までの引数で作動させることができる。

この場合、検索値を名前、返す範囲を該当記述としています。左端になくても検索できるところが便利です。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y
1																	3年	A	組	3	番			番号	3103
2		令和	6	年度													名前		梅澤	勝					
3																									
4																									
5																									
6		単元名																							
7																									
8		単元目標																							
9																									
10																									
11		1																							
12																									
13																									
14																									
15																									

実際の構文【3 つの引数】

`=XLOOKUP($Y$1,'基本情報④'!S:S,'基本情報④'!C:C)`

基本情報④

演習④

「まちづくり（振り返り）」はスプレッドシート内の別シートの S 列、C 列を参照する意味です。

【4 つの引数】

`=XLOOKUP($Y$1,'基本情報④'!S:S,'基本情報④'!C:C,"記載なし")`

11	1	今回の学習全体を通して、どのようなことを学んだかまとめよう
12		
13		記載なし
14		
15		

欠席した児童生徒がいた場合など、検索値と照合されるデータがない場合、メッセージを表示させることが XLOOKUP 関数 1 つのみで可能になります。

注意事項 & 豆知識

- (1) VLOOKUP 関数との大きな違いは、検索値が左端である必要がないということです。上記画像のように、検索値の左のデータを取り出すことができ、汎用性が高いといえます。
- (2) 4 つめの引数が「見つからない場合」であるため、IFERROR 関数を入れる必要がありません。この点からも汎用性が高いといえます。

演習⑤ 演習④シートで、XLOOKUP 関数を用いて該当データを表示しよう！

(2) こんな時どうする？ ～複数の条件を検索して、データを取り出したい～

		B	C	D	E	F	G
1		学級議長	学級副議長	学級書記	代議員	生活委員	学習委員
2	A組	櫻庭	中本	山元	石崎	松井	福島
3	B組	菅野	中島	工藤	香取	津村	中澤
4	C組	会田	今野	安齋	千葉	和田	堀
5	D組	武田	速水	福田	藤波	富樫	牧野
6							
7							
8	学級	役職	名前				
9	C組	代議員	千葉				

取り出したい値の範囲 (A2:A5)

取り出したい値の範囲 (B1:G1, B2:G5)

検索値 (C9)

検索値 (B9)

取り出したい値の範囲から検索値と一致するデータを抽出 (学級と役職のいずれにも合致するデータ)

2つの条件 (学級と役職) を満たす児童生徒を抽出したい時にも、XLOOKUP 関数を二重にすることで抽出できます。

実際の構文

=XLOOKUP(A9,A2:A5,(XLOOKUP(B9,B1:G1,B2:G5)))

抽出結果

学級	役職	名前
C組	代議員	千葉

注意事項 & 豆知識

(1) 検索値を参照させるときは、上部にある「データ」コマンドより「データ入力規則」でリストから選択する設定にすることで、検索値が一致しないことを防ぐことができます。【詳細は P18 参照】
※全角、半角の違い、スペースの有無でデータが反映されることがよくあります。

参 考

参考①シートで、XLOOKUP 関数を用いた複数条件を確認しよう！

4 QUERY 関数

特 徴

選択した範囲の情報について、別のシートに必要な部分だけ抽出することができます。ひとつのセルに関数を入力すればシート全体に反映されるため、複数打ち込む必要がありません。並べ替えができたり、空白時にはデータを抽出しなかったり等、条件をつけることで、必要なデータを絞り込んで取り出すことができます。

自らクラスと出席番号を選択できます

条件① (どの單元か)

条件③（誰の振り返りか）

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	AL	AM	AN	AO	AP
1	国語科 学びの足跡ファイル													2	年	B	組	2	番	加藤 道																					
4	単元名		表現を見つめる										教材名		走れメロス																										
6	単元のゴール		読むこと		太宰治・走れメロスの魅力とは何か																																				
8	本単元で身につける力		・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知識・技能)																																						
・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈することができる。(思考・判断・表現)																																									
・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思考・判断・表現)																																									
11	本単元で身につけたこと		・粘り強く目的に応じて登場人物の言動の意味などについて考え内容を解釈し、各学習課題に沿って太宰治・走れメロスの魅力について明らかにしようとしている。(主体性)																																						
14			自分は走れメロスならではの表現とその効果について考えた。はじめは走れメロスの独特な表現は見つけることができたが、その効果についてはわからなかった。人質と比較してみると、表現が表す効果がわかり、走れメロスならではの魅力を見つけることができた。また、中間交流会や発表会では、別の探求課題のグループでも共通点があったのでより考えが深まった。これから他の作品を読むときにも表現やその効果に着目して読んでいきたい。																																						
17	時数	学習内容	観点	振り返り																																					
18	1	「人質」を読み、走れメロスとの違いを把握する。	知・技	自分はシラクスの町について比べてみたけれど、「走れメロス」のほうには町の間があったが、「人質」のほうには町の間がなかったためあまり比べることができなかった。しかし、なぜ「走れメロス」のほうにだけ町のシーンがあるのか疑問に思った。																																					
思・判・表																																									
主体性																																									
21	2	「人質」を読み、走れメロスとの違いを明らかにして、探求課題を解決する。	知・技	「人質」と「走れメロス」を比較してみると、最初のシラクスの町のシーンやメロスの心情などで違いが見られ、そこから新たな疑問が見つかったので、単元課題につながるように疑問点を読み解いていきたい。																																					
思・判・表																																									
主体性																																									
24	条件②（単元何時間目の学習か）		知・技	自分は走れメロスの表現の方法についての課題を立てた。課題を立てたことで、次回以降の見通しを持つことができた。今回は、走れメロスと人質を表現の観点から比較し、共通点や相違点を見つけていきたい。																																					
思・判・表																																									
主体性																																									
27	5	探求タイム③	知・技	走れメロスならではの表現技法とその効果をまとめてみて、強調している部分や迫力が出ている部分がわかった。次は他の班やクラスの考えを聞いて深めていきたい。																																					
思・判・表																																									
主体性																																									
30	6	探求タイム④	知・技	人質と走れメロスの表現をそれぞれ整理し、比較してみると、走れメロスならではの表現が多くあり、それが走れメロスの魅力につながっていることがわかった。																																					
思・判・表																																									
主体性																																									

条件②（単元何時間目の学習か）

=IFERROR(query('集約'!A:F,"select F where B='"&\$B\$4&"' and C='"&A18&" and E='"&AE\$1&"'),")

別シートの検索範囲

検索範囲内から取り出すデータの列番号 (F 列に記述があることを示しています)

活用例

教科の振り返り「学びの足跡」として、各単元の目標、学習内容等を記載しているシート（シラバス）に、「クラス」と「出席番号」を選択することで、個人の振り返りが表示されるよう QUERY 関数を用いている。単元における自分の変容はもちろん、他者の振り返りも参照することができる仕組みとなっている。以前学んだ単元も蓄積されているため、同じ学習領域（物語文、意見文の作成等）を生かしながら、自らの学習課題を設定することにも役立てています。

【個別最適な学び、協働的な学び】

(1) 基本構文 **=QUERY(範囲,select 列,where 条件,見出し)**

範囲	QUERY 関数で検索するセル範囲。指定の仕方は、VLOOKUP 関数、XLOOKUP 関数と同じです。
列	QUERY 関数で出力する列。複数指定する場合はコンマ(,)区切りです。何も指定しないもしくは「select *」とすると、全ての列が表示されます。
条件	範囲の中から欲しい条件を指定します。文字列の指定であれば「列=「文字列」」、数字の指定であれば「列=100」「列>100」という書き方をします。
見出し	データの上にある項目として用いる行の数です。省略した場合や-1 と指定した場合は、データの内容に基づいて推測されます。

※ QUERY 関数では、「シングルクォーテーション(「」)」と「ダブルクォーテーション(“”)」を使い分けることがあります。シングルクォーテーションを使用する場合は文字として認識、ダブルクォーテーションは関数の区切りとして用いられることが多いです。(必ずしもその限りではありません)なお、数値の場合は区切り必要はありません。

	A	B	C	D	E	F
1	学年	組	氏 名	部活動	住 所	電話番号
2	2	D	乗松瑠華	陸上競技	広島市福住1丁目	033-000-0000
3	2	D	高橋はな	サッカー	広島市福住2丁目	033-000-0001
4	3	C	岩渕真奈	野球	広島市福住1丁目	033-000-0002
5	2	C	熊谷紗希	卓球	広島市福住2丁目	033-000-0003
6	1	D	三苫 薫	サッカー	広島市福住1丁目	033-000-0004
7	2	A	久保 建英	野球	広島市福住2丁目	033-000-0005
8	1	D	南野 拓実	サッカー	広島市福住1丁目	033-000-0006
9	2	A	遠藤 航	バスケットボール	広島市福住2丁目	033-000-0007
10	3	A	長谷川唯	ソフトテニス	広島市福住1丁目	033-000-0008
11	2	A	田中 碧	バドミントン	広島市福住2丁目	033-000-0009
12	1	B	酒井 宏樹	バドミントン	広島市福住1丁目	033-000-0010
13	2	C	南萌華	美術	広島市福住2丁目	033-000-0011
14	1	C	吉田 麻也	バスケットボール	広島市福住1丁目	033-000-0012
15	1	D	守田 英正	バスケットボール	広島市福住2丁目	033-000-0013
16	1	D	伊東 純也	ソフトテニス	広島市福住1丁目	033-000-0014
17	1	C	板倉 滉	サッカー	広島市福住2丁目	033-000-0015
18	3	C	植木理子	野球	広島市福住1丁目	033-000-0016
19	3	A	猶本光	卓球	広島市福住2丁目	033-000-0017
20	2	C	大場朱羽	サッカー	広島市福住1丁目	033-000-0018
21	1	A	シュミット・ダニエル	バレーボール	広島市福住2丁目	033-000-0019

多くの情報から該当するデータだけ抽出することができる。今回は「野球部」に所属している子どものみを抽出している。



	A	B	C	D	E	F
1	野球			部 部員名簿		
2						
3	学年	組	氏 名	部活動	住 所	電話番号
4	3	C	岩渕真奈	野球	広島市福住1丁目	033-000-0002
5	2	A	久保 建英	野球	広島市福住2丁目	033-000-0005
6	3	C	植木理子	野球	広島市福住1丁目	033-000-0016
7	1	C	中山 雄太	野球	広島市福住2丁目	033-000-0039
8	3	B	藤野あおば	野球	広島市福住1丁目	033-000-0042
9	1	C	富安 健洋	野球	広島市福住2丁目	033-000-0047

QUERY 関数は A3 セルにのみ入力されています。今までの関数のように全てのセルに入力する必要はありません。

実際の構文

```
fx =QUERY('基本情報③'!A:F,"select * where D='野球'",1)
```

別シートを参照する場合、シート名はシングルクォーテーション（'）で囲みます。シート名の後ろは、エクスクラメーションマーク（!）を置きます。

select 句は、範囲の中から欲しい列のデータを選ぶことができます。今回は「*」をつけており、全ての列を選択したい場合に用います。また、select 句の最初はダブルクォーテーションをつけます。

where 句は、範囲の中で満たしている条件を入力します。今回はD列が「野球」と表示されているデータだけを取り出したいので、シングルクォーテーションで「野球」を囲みます。最後は、ダブルクォーテーションをつけます。

基本情報③の1列目には「学年」「組」等の項目があります。そのため、1列目を見出しで使います。

注意事項 & 豆知識

- （1）QUERY 関数は文字による全角・半角の違いだけではなく、スペースが空いていない、またはスペースの全角・半角の違いだけでも作動しないことがあります。基本的に、「半角でスペースを空ける」ことが大事になります。 ※半角スペースは で表示
- （2）select 句は、データを選ぶことができるため、①データを並べ替えて選択する、②必要な列だけ抽出することができます。

①データを並べ替えて選択する方法

```
fx =QUERY('基本情報③'!A:F,"select A,B,D,C,F,E where D='野球'",1)
```

	A	B	C	D	E	F
1	野球部			部員名簿		
2						
3	学年	組	部活動	氏 名	電話番号	住 所
4	3	C	野球	岩渕真奈	033-000-0002	北広島市福住1丁目
5	2	A	野球	久保 建英	033-000-0005	北広島市福住2丁目

②必要な列だけ抽出する方法

```
fx =QUERY('基本情報③'!A:F,"select A,B,C,F where D='野球'",1)
```

	A	B	C	D	E	F
1	野球部			部員名簿		
2						
3	学年	組	氏 名	電話番号		
4	3	C	岩渕真奈	033-000-0002		
5	2	A	久保 建英	033-000-0005		

- （3）関数は一つのセルに入力するだけになります。オートフィル等をしてコピーする必要はありません。また、表示されるセルに数値等を入力するとエラー表示が出ますので注意してください。

演習⑥ 演習⑤シートで、各部活の部活動名簿を作成しましょう！

(2) こんな時どうする？ ～学年、クラスごとに並べ替えて、データを整えたい～

	A	B	C	D
1	野球			部 部員名
2				
3	学年	組	氏 名	電話番号
4	3	C	岩渕真奈	033-000-0002
5	2	A	久保 建英	033-000-0005
6	3	C	植木理子	033-000-0016
7	1	C	中山 雄太	033-000-0039
8	3	B	藤野あおば	033-000-0042
9	1	C	富安 健洋	033-000-0047

データを抽出する際に何も設定をしないと、登録されている順番で抽出されてしまいます。そのため、学年の順番だけでなく、同じ3年生でもクラスが順番通りに並ばないこともあります。



where 句を工夫して、昇順、降順に並び替えることができる！
 昇順の基本構文 「order by 列 asc」
 降順の基本構文 「order by 列 desc」

	A	B	C	D	E	F
1	学年	組	氏 名	部活動	住 所	電話番号
2	2	D	乗松瑠華	陸上競技	北広島市福住1丁目	033-000-0000

※ここで示す「列」とは、「検索する範囲の列」を示しています。そのため、演習シート基本情報③のA列に該当しますので、お間違えないように注意してください。

実際の構文

① 学年の並べ替え

```
=QUERY('基本情報③'!A:F,"select A,B,C,F where D='野球' order by A asc",1)
```

	A	B	C	D
1	野球			部 部員名
2				
3	学年	組	氏 名	電話番号
4	1	C	中山 雄太	033-000-0039
5	1	C	富安 健洋	033-000-0047
6	2	A	久保 建英	033-000-0005
7	3	B	藤野あおば	033-000-0042
8	3	C	岩渕真奈	033-000-0002
9	3	C	植木理子	033-000-0016

② クラスの並べ替え

`=QUERY('基本情報③'!A:F,"select A,B,C,F where D='野球' order by B asc",1)`

	A	B	C	D
1	野球部			部員名
2				
3	学年	組	氏 名	電話番号
4	2	A	久保 建英	033-000-0005
5	3	B	藤野あおば	033-000-0042
6	3	C	岩渕真奈	033-000-0002
7	3	C	植木理子	033-000-0016
8	1	C	中山 雄太	033-000-0039
9	1	C	富安 健洋	033-000-0047

③ 学年とクラスの両方並べ替え

`=QUERY('基本情報③'!A:F,"select A,B,C,F where D='野球' order by A asc,B asc",1)`

	A	B	C	D
1	野球部			部員名
2				
3	学年	組	氏 名	電話番号
4	1	C	中山 雄太	033-000-0039
5	1	C	富安 健洋	033-000-0047
6	2	A	久保 建英	033-000-0005
7	3	B	藤野あおば	033-000-0042
8	3	C	岩渕真奈	033-000-0002
9	3	C	植木理子	033-000-0016

(3) こんな時どうする？ ～複数条件でデータを抽出したい～

	A	B	C	D
1	野球			部 部員名
2				
3	学年	組	氏 名	電話番号
4	3	C	岩淵真奈	033-000-0002
5	2	A	久保 建英	033-000-0005
6	3	C	植木理子	033-000-0016
7	1	C	中山 雄太	033-000-0039
8	3	B	藤野あおば	033-000-0042
9	1	C	富安 健洋	033-000-0047

全児童生徒の中で、「野球部に所属している1年生だけを抽出したい」、「1年A組に所属する児童生徒の部活動を知りたいから抽出したい」等、複数の条件を満たしたデータを抽出したい場合があります。



・ where 句を工夫して、「and」で条件を複数つくりましょう

1年A組の児童生徒のみを抽出したい場合

(where 句のみ) 「where A=1 and B='A'」

・ where 句を工夫して、「or」で条件を複数つくりましょう

(「or」を使用すると、いずれかの条件を満たすデータを抽出することができます。)

1年生と2年生に在籍している児童生徒を抽出したい場合

(where 句のみ) 「where A=1 or A=2」

実際の構文

① 「1年」「A組」に所属している児童生徒のみを抽出して、部活動を知りたい場合

```
=QUERY('基本情報③'!A:F,"select A,B,C,D where A=1 and B='A'",1)
```

	A	B	C	D
1	野球			部 部員名
2				
3	学年	組	氏 名	部活動
4	1	A	シュミット・ダニエル	バレーボール
5	1	A	川島 永嗣	サッカー
6	1	A	権田 修一	合唱
7	1	A	長友 佑都	バスケットボール

② 「1年生」で「サッカー部」に所属している児童生徒のみを抽出したい場合

fx =QUERY('基本情報③'!A:F,"select A,B,C,D where A=1 and D='サッカー' order by B asc",1)

	A	B	C	D
1	野球部			部員名
2				
3	学年	組	氏 名	部活動
4	1	A	川島 永嗣	サッカー
5	1	C	板倉 滉	サッカー
6	1	D	三笥 薫	サッカー
7	1	D	南野 拓実	サッカー

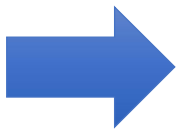
演習⑦ 演習⑥で作成したシート（演習⑤シート）で、様々な条件でデータを並べ替えたり、抽出したりしましょう！

豆知識

- ・条件を固定値ではなく、変数に対応させるとシートは1枚つくるだけで十分です。

```
=QUERY('基本情報③'!A:F,"select * where D='野球'",1)
```

「野球」という文字で抽出するのではなく、セルに対応したデータを抽出させたい！



シングルクォーテーション（'）とダブルクォーテーション（"）、アンパサンド（&）を駆使しましょう！

文字として認識する場合 ‘野球’ = 「“&A1&”」

数字として認識する場合 1 = 「&A1&」

実際の構文

```
=QUERY('基本情報③'!A:F,"select * where D=' "&A1&" " order by A asc,B asc",1)
```

豆知識

(1) データの抽出エラーが起きないために、データの入力規則を用いると便利です。

The flowchart illustrates the process of creating a data range rule in Google Sheets. The steps are as follows:

- Open the **データ** (Data) menu, then **ツール** (Tools), **拡張機能** (Extensions), **ヘルプ** (Help), and **ユーザー補助** (User Assistance).
- Click **シートを並べ替え** (Sort sheets) and **範囲を並べ替え** (Sort range).
- Click **フィルタを作成** (Create filter).
- Click **グループ化ビューを作成** (Create grouped view) and **フィルタビューを作成** (Create filter view).
- Click **スライサーを追加** (Add slicer).
- Click **シートと範囲を保護** (Protect sheets and ranges).
- Click **名前付き範囲** (Named range) and **名前付き関数** (Named function).
- Click **範囲をランダム化** (Randomize range).
- Click **列の統計情報** (Column statistics).
- Click **データの入力規則** (Data validation rules).
- Click **+ ルールを追加** (Add rule).
- Click **条件** (Criteria) and **ブルダウン** (Dropdown).
- Click **ブルダウン (範囲内)** (Dropdown (within range)).
- Click **次を含むテキスト** (Text that includes), **次を含まないテキスト** (Text that does not include), **完全一致するテキスト** (Text that matches exactly), **有効なメールアドレスであるテキスト** (Text that is a valid email address), **有効な URL であるテキスト** (Text that is a valid URL), **有効な日付** (Valid date), and **日付** (Date).
- Click **条件** (Criteria) and **ブルダウン (範囲内)** (Dropdown (within range)).
- Click **田** (Field).
- Click **卓球** (Table Tennis).
- Click **完了** (Done).
- Click **データ範囲の選択** (Select data range).
- Click **OK** (OK).

演習⑧ 演習⑥シートに、データの入力規則を設定して、リストに対応する QUERY 関数を設定しよう！

5 IMPORTRANGE 関数【別のスプレッドシートから情報を取得できる関数】

(1) 基本構文 =IMPORTRANGE(“スプレッドシートキー”, “シート名!範囲の文字列”)

スプレッドシートキーとは・・・

Google アプリの URL の中に存在し、d//の間をスプレッドシートキーと呼び、各ファイル固有のアドレスとなります。

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1zP30bM15aBam15N-0JakzWXmAobKrtAh/DZASkk1Q4m8/edit?gid=1791865831#gid=1791865831>

実際の構文

```
=importrange("1dyx1ts2Ukwqz_xPb4cbIIrCt6dowsyX_22S7z24v0CE","基本情報!A1:AC368")
```

#REF!

これらのスプレッドシートをリンクする必要があります。読み込み先のスプレッドシートが新しい参照元のスプレッドシートから初めてデータを取得するときは、権限を付与する必要があります。

[詳細](#)

アクセスを許可

IMPORTRANGE 関数を初めて用いる場合、必ずアクセスの許可を求められます。許可して、権限があるとデータが共有されて反映されます。

IMPORTRANGE 関数の良さは、元データに修正を加えた場合、リンクされているため自動的に修正が反映されるようになっています。全てのファイルを変える手間がないため、効率的であり人的エラーを防ぐことにも有効な関数です。（時間割関係で重宝しています）

[illegible]

2) Google サイトの活用について



特徴

- ・Google が提供するシンプルな Web サイト作成ツール
- ・HTML やプログラミング、デザイン等の専門知識がない人でも簡単にホームページを作成することができる
- ・共有設定により共同編集が可能
- ・作成したサイトはタブレット、スマートフォンからも閲覧可能で、あらゆる画面に合わせて表示される

※北広島市のアカウントで作成された Google サイトは、北広島市のアカウントを所有している人しか閲覧することができません。検索しても表示されることはありません。各市町村で制限がありますので、ご確認ください。

R6 3年国語サイト
ホーム 第3章 言葉とともに 第2章 視野を広げて 第1章 深まる学びへ 漢字ミニテスト 2学年

3年国語科ポータルサイト

国語科からのお知らせ
授業予定&締め切りについて
研鑽タイム
学びの足跡&振り返りform
クラスルーム

授業資料（各ページ）にアクセスしやすいことがポイント！蓄積すれば前学年の既習事項を活用した学習にも発展しやすくなります。

第1章 広がる学びへ
第2章 多様な視点から
第3章 言葉と向き合う
第4章 人間のきずな
第5章 論理を捉える
第6章 いにしえの心を...
第7章 価値を語る
漢字ミニテスト
シンキングツール
チャレンジテスト

単元計画スライド

「盆土産」
一人間のきずな
単元課題
「盆土産解説書」を作成しよう

R6 3年国語サイト
ホーム 第3章 言葉とともに 第2章 視野を広げて 第1章 深まる学びへ 漢字ミニテスト 2学年

振り返りform 学びの足跡

1,2時間目「盆土産の第一印象をもち、第三の場面を視覚的にまとめる」

A組 Padlet B組 Padlet C組 Padlet D組 Padlet

3,4時間目「ラストシーンにおける主人公と父親の言動の意味を考える」

2A 2B 2C 2D

5時間目 単元まとめ「『盆土産説明書』を作成しよう」

Google アプリのファイルも直接表示させることができるため、児童生徒に見通しを持たせやすくなります。また、授業で使用するファイルのリンクを貼り付けることで容易にアクセスしやすいため、欠席した場合やオンラインで授業を受ける場合等、幅広いニーズに対応しやすい形式といえます。

活用例

授業で使用するファイルのリンクをサイトに貼り付ける形で、生徒と共有しています。また、授業だけではなく、クラスや学年、行事、部活動と幅広く活用し、場面に応じて保護者とも情報を共有しています。

(1) サイトに文字やファイル等を挿入するときは・・・



右に表示される「挿入メニュー」から文字、画像、インターネットの情報、Google ドライブにあるデータをサイト内に入れることができます。また、PC に保存されているデータをアップロードすることもできます。



デザインに困った場合は、コンテンツブロックを使うことでレイアウトを整えることができます。

(2) 該当ファイルに手軽にアクセスできるようにするためには・・・

① スライドを直接サイトに埋め込む方法

右に表示される挿入メニューからスライドを選択します。

スライドを選び、挿入ボタンをクリックします。

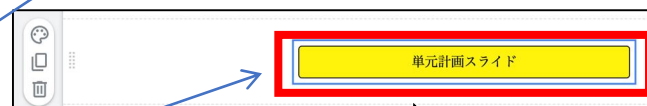
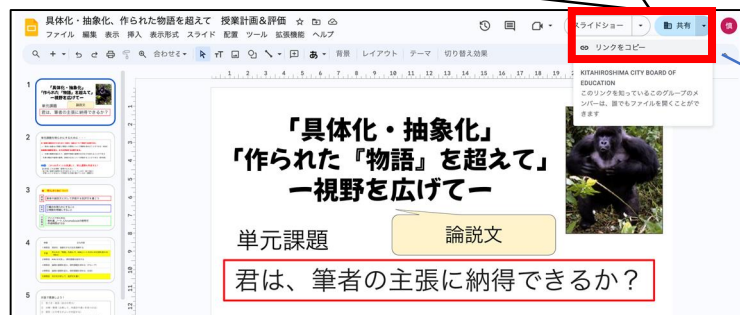
サイトを公開すると、サイト上でページを移動したり全画面表示にしたり等閲覧可能になります。



②ボタン機能にリンクを貼り付ける方法

各種ファイルの共有右の↓をクリックすると、「リンクをコピー」が表示されるのでクリックします。

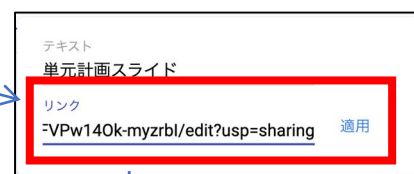
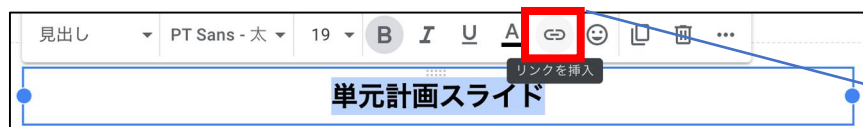
右に表示される挿入メニューからボタンを選択します。



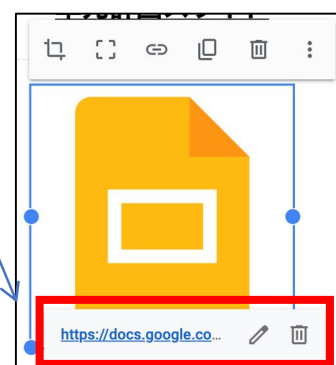
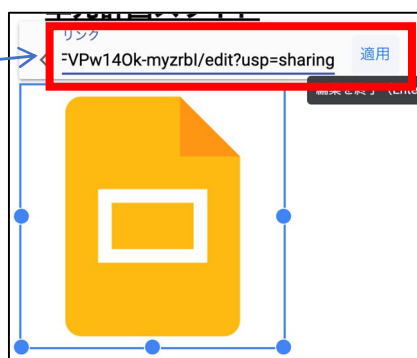
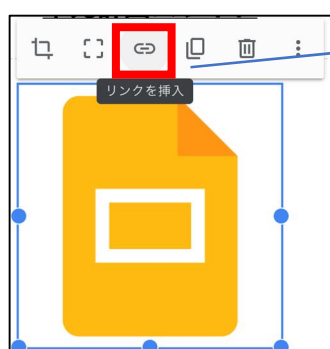
コピーしたリンクを貼り付けます。名前はボタンとして表示された際のタイトルにあたります。

サイトを公開すると、ボタンを押すことで該当のファイルに移動することができます。

③テキストや画像にリンクを貼り付ける方法



テキストや画像を選択すると「リンクを挿入」ボタンが表示されます。それをクリックして、URL を貼り付けるだけになります。サイトを公開するとテキストや画像をクリックすることで、該当のファイルに移動することができます。



(3) サイト内にページを増やしたいときには・・・

画面の右に表示される「ページメニュー」の一番下にある＋マークより、「新しいページ」を選択することで追加できます。

作成したページをページの中に入れ込むことで、自動的に階層化されます。

実際に階層化されると・・・

第3章 言葉とともに ▾ 第2章 視野を広げて ▾

- 具体化・抽象化 作ら...
- 文法への扉
- 情報社会を生きる
- 説得力のある構成を考...

(4) 作成したサイトを確認したいときには・・・

上記のメニューバーより赤枠のボタンを押すと、公開された時の表示形式を確認することができます。右下のボタンより、スマートフォン、タブレット、パソコンと選択することができます。画像は、スマートフォンによって表示されているものです。

3年国語科ポータルサイト

国語科からのお知らせ

①夏休み宿題「生活体験文」の作成について

・内容は、他の人にはない自分だけの体験をもとに、大切だと感じたことや自分の変化について書くこと。

(5) 作成したサイトを公開するときには・・・

公開設定

ウェブアドレス

r5kokugo

https://sites.google.com/kitahiroshima.ed.jp/r5kokugo

公開前に変更を確認

☒ 公開する前に編集者が変更内容を確認する必要があります

キャンセル 保存

公開ボタンより公開設定を選びます。任意の URL を設定する必要がありますので、条件に従って作成します。重複した URL がないことを確認後に公開され、URL を知っている人のみ閲覧することができます。

豆知識

(1) 一般アカウントの場合、検索エンジンにて検索されるようにするかチェックボックスで確認されます。また、公開範囲を設定することができますので、使用目的に応じて使い分けることで Google サイトのメリットを最大限に発揮することができます。

演習⑨ 本日の演習で作成したスプレッドシートを様々な表示形式でサイトに掲載して、公開しよう！

3)おわりに

本日の研修会はいかがでしたでしょうか？ 限られた時間の中ではありましたが、使ってみるうちに新たな機能に気が付いたり、もっと簡単にできる方法が見つかったりしたでしょうか？

私自身、関数の利便性について知ったのは教職に就いてからです。それまでは、せいぜいオート SUM を知っていたくらいです。ですが、「こんなこともできるんじゃないか？」「これを授業で生かせるとしたら・・・」と課題意識をもち、調べるとインターネット上にはたくさんの関数が存在しています。一度使ってみても体得することができずに、その度に調べて、関数を作動させてみる。失敗したら原因を分析して、また作動させてみる。その過程を繰り返す中で、経験値が間違いなく上がってできることが増えたと実感しています。そして、この過程こそ、今まさに子どもに求められている探究的な学びなのだと身に染みて感じるとともに、我々教職員にとっても大事な研鑽の時間なのだと感じます。

今回の研修を通して、皆さんの業務の負担が少しでも改善され、心身ともに充実した働き方の一助になれば幸いです。有効的な活用アイデアがあれば、お教えください。

北広島市立東部中学校

安齋 慎